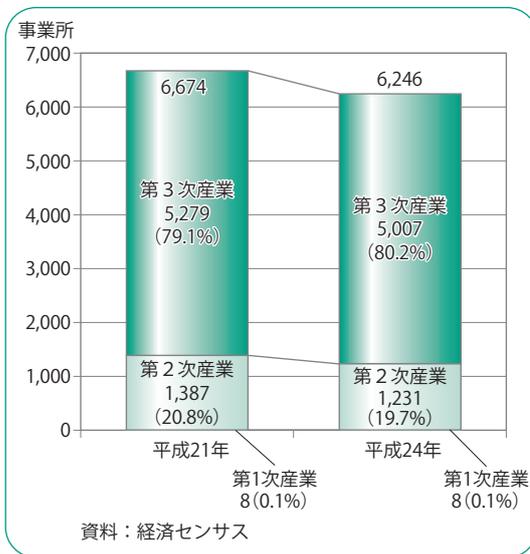


1 本市の経済基盤・産業構造の現状

(1) 本市の産業構造

本市の産業構造をみると、第三次産業（卸売・小売業、飲食店、サービス業など）の事業所数が全体の約8割、従業者数が約7割を占めており、主要な産業となっています。

■産業分類別事業所数比率

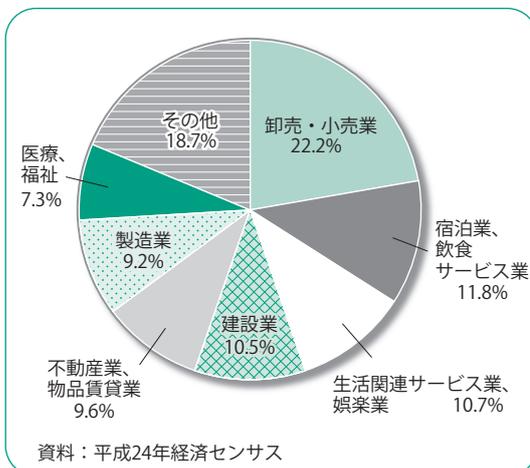


■産業分類別市内従業者数

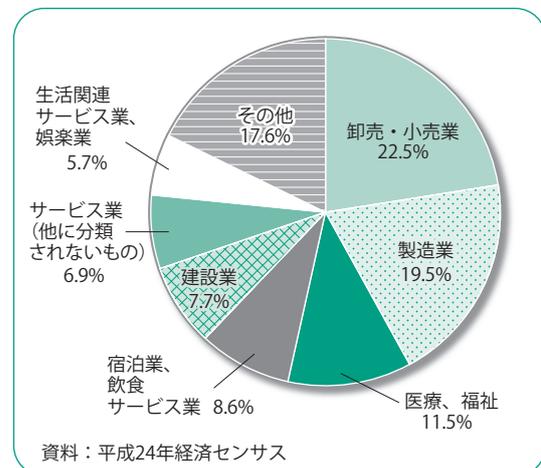


次に、市内事業所の状況をみると、事業所数は、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業の順に多くなっていますが、従業者数では、卸売・小売業、製造業、医療・福祉の順となっています。

■産業分類（中分類）別事業所数比率



■産業分類（中分類）別従業員数比率

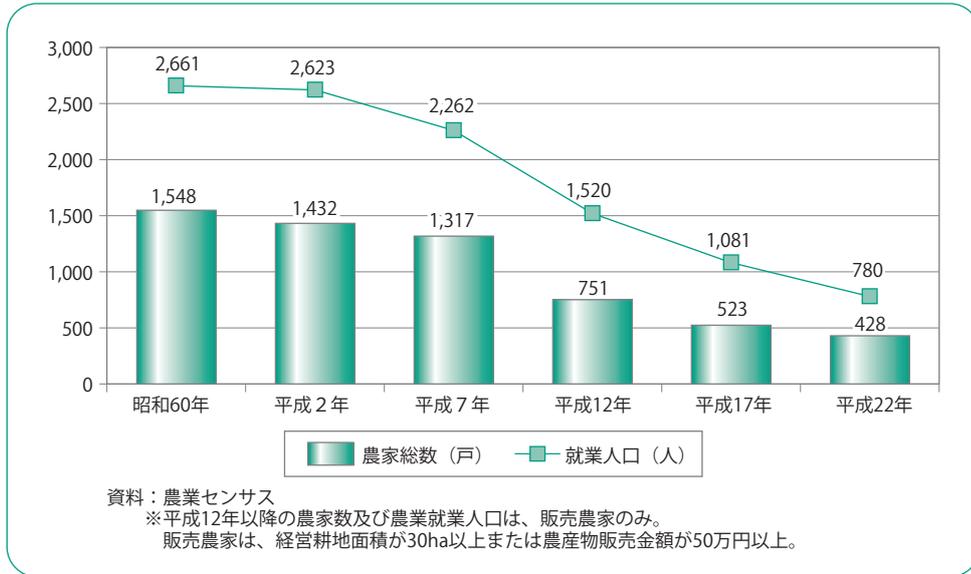


(2) 農業

●市内農業の動向

本市の農業は、平成12年以降の統計が販売農家のみを対象としているため、単純な比較はできませんが、昭和60年から平成22年の25年間で、農家数、就業者数、耕地面積ともに減少が続いています。

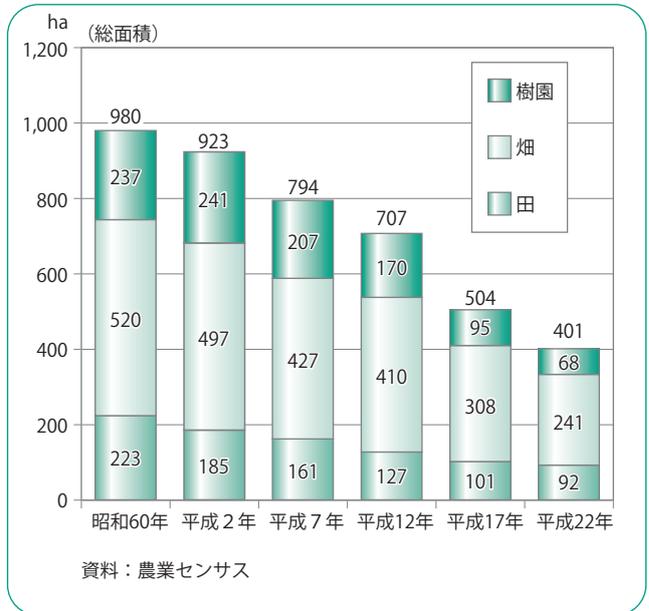
■農家総数と就業人口



■農家戸数の内訳



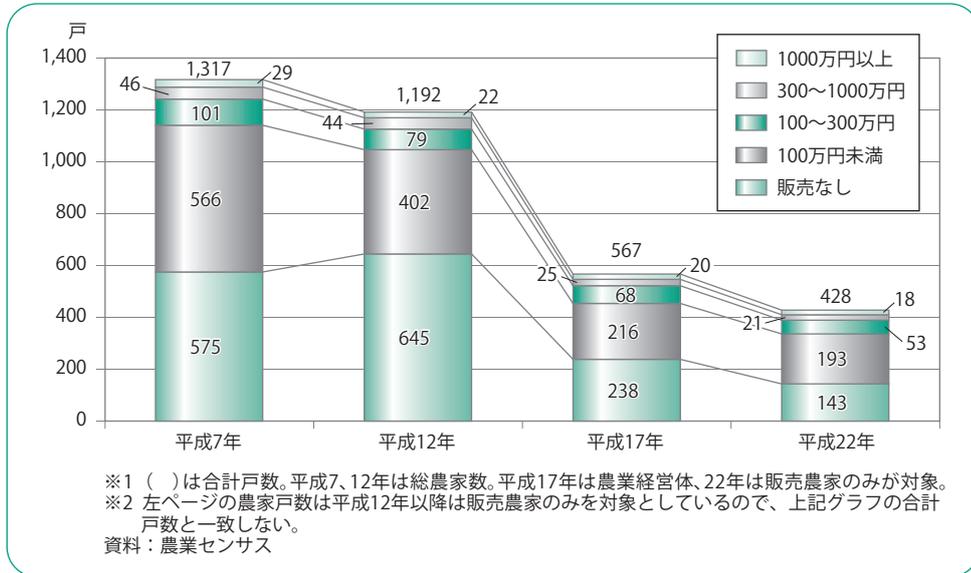
■経営耕地面積



●市内農家の経営動向

本市農家の農産物販売金額規模についてみると、平成12年までの統計が総農家を対象とし、平成17年は農業経営体、平成22年は販売農家のみを対象としているため、単純な比較はできませんが、平成22年には、販売なしの農家と100万円未満の農家が大半を占めており、厳しい経営状況にある農家が多いことがうかがえます。

■上尾市の農産物販売金額規模別農家割合



また、主に農業に従事している人の平均年齢及び平成25年2月に市内農家を対象として実施した「農業者意向・実態調査アンケート」の結果をみると、平均年齢は60代後半となっているほか、60代以上は8割を超えるなど、年々、農業従事者の高齢化が進んでいます。

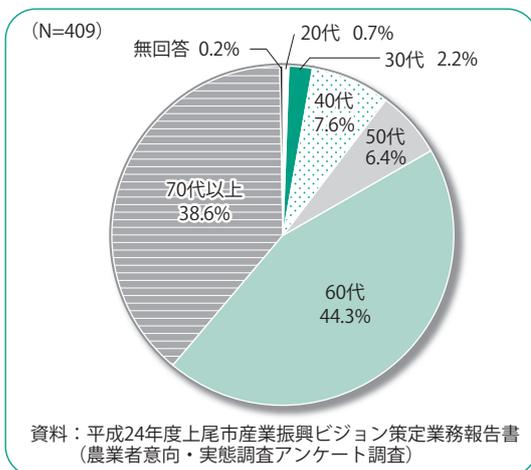
■農業従事者の平均年齢 (主に農業に従事している人)

	平成17年	平成22年
上尾市	64.2歳	67.8歳

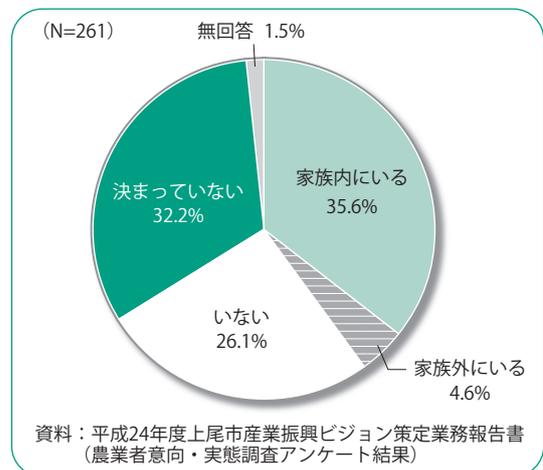
資料：世界農林センサス

一方、後継者がいる農家は4割程度にとどまっており、後継者がいない、もしくは決まっていない農家が半数以上を占めています。

■農業従事者の年齢



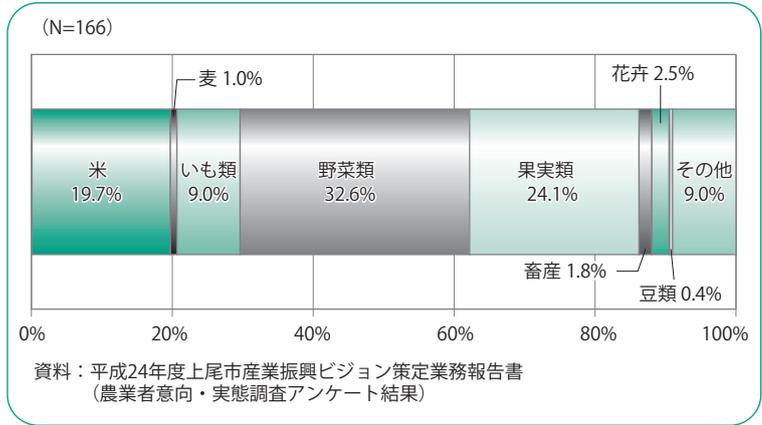
■農家後継者の有無



●主要な農産物と販路

本市では、主に野菜類と果実類の栽培が行われています。収穫量が県内で上位を占める農作物も多く、果実類ではカキとキウイフルーツが県内1位、穀類・野菜類では小松菜が県内2位の生産量を誇っています。

■農産物の栽培・販売割合



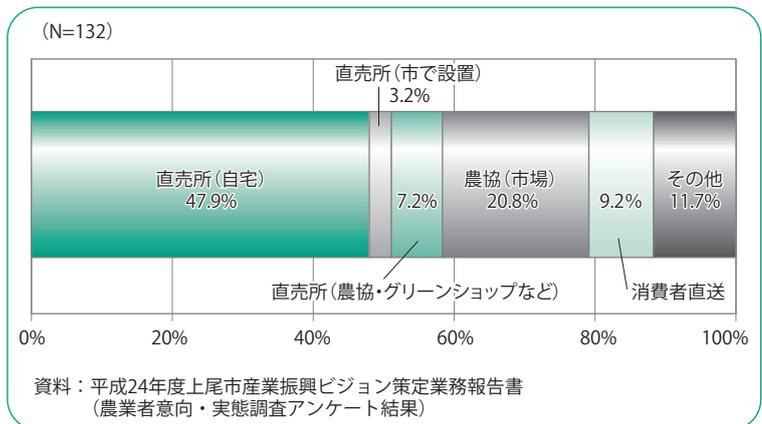
■県内における上尾の農作物の地位 (平成18年度収穫量基準)

品目	順位	品目	順位
果実類		穀類・野菜類	
カキ	1位	小松菜	2位
キウイフルーツ	1位	ヤマノイモ	6位
クリ	3位	サツマイモ	7位
ウメ	4位	キャベツ	13位
ブドウ	9位	トマト	13位
日本ナシ	14位	里芋	13位
畜産		大根	15位
乳用牛	13位	ニンジン	15位

※キウイフルーツは平成16年度収穫量基準

農産物の販路としては、自宅における直売の販売品取扱高に占める割合が高く、農協や市で設置した直売所も含めると、直売所を通じて販売される農産物は過半数を占めています。

■農産物の販路割合



●農産物のブランド化や6次産業化への取り組み

本市における農産物のブランド化への取り組みとしては、地域ブランド梨「黄金の雫」が都内の高級フルーツ店などで販売されているほか、市内事業者と連携した加工品も販売されています。

また、農業生産法人化、市内の工業者と連携した農業の6次産業化や農場の観光利用などに取り組み、成果をあげている農業者も現れています。

■上尾市特産の農産物



<トマト>



<キウイ>



<梨>

(3) 商業

●市内商業の動向

本市の商業は、平成6年から平成19年の間で、事業所数及び従業員数、年間商品販売額は減少傾向にあるものの、大型店舗の出店などにより、売場面積は増加しています。

■事業所数及び年間商品販売額の推移



■従業者数の推移



■売り場面積の推移



●中心市街地の現状

本市の中心市街地は、上尾駅東口では、歴史ある中山道沿道の商店を中心として発展し、上尾駅西口は、先進的な商店街モデルとして開発されるなど、人口の増加とともににぎわいを増してきました。

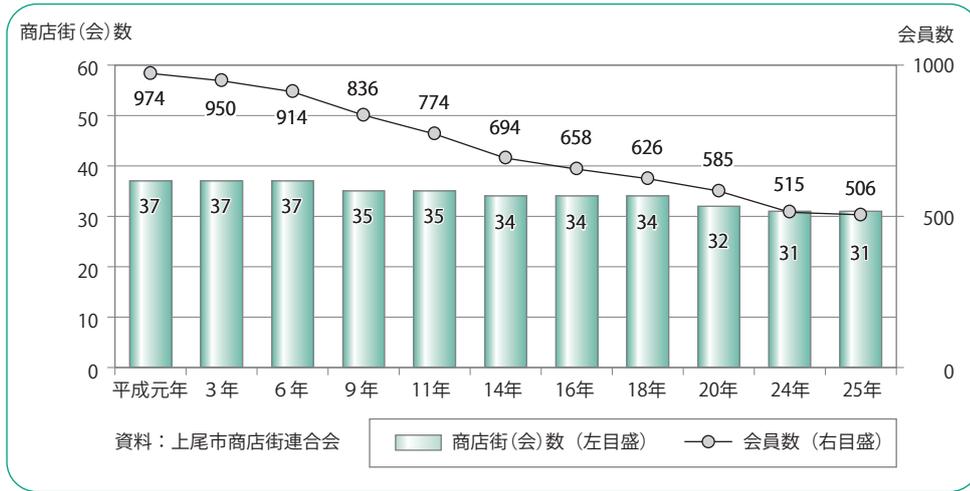
近年では、市内及び本市近郊に郊外型ショッピングセンターの出店が相次ぎ、購買力の流出の影響で、中心市街地における消費の減少傾向が見受けられます。

●市内商店街の現状

本市の商店街及び会員数は、店主の高齢化や後継者不足などにより減少が続いており、これに伴って商店街活動が低迷している状況にあります。また、大規模店舗やショッピングセンターの進出などにより、商店街の利用者が減少し、閉店や廃業しているケースも見られます。

一方、便利屋サービスなどのコミュニティビジネスや団地内の空き店舗を利用した高齢者への宅配サービスなど、地域ニーズに対応した取り組み事例があります。

■商店街(会)数と会員数の推移



■商店街連合会会員一覧（平成25年3月31日現在）

地区	商店街名	会員数	地区	商店街名	会員数
上尾東	アリオペール上尾デパート館出店者会	12	原市	原市団地北口商店会	5
	アリオペール上尾サロン館・ホテル館出店者会	20		原市大通り商店会	14
	中山道第一のれん街	19		原市団地西口商店会	5
	上尾市役所通り商店街	24		原市南商栄会	22
	アツピー通り商店街	8		原市六区北商店会	16
	東口駅前大通り商店会	24		尾山台商栄会	11
	すずらん通り商店会	15		大石	弁財商栄会
	上尾仲町商店会	33	井戸木商店会		8
	上尾愛宕商店会	37	東急ショッピングセンター会		15
上尾西	ショーサンプラザ専門店会	50	夕日が丘通り商店会		12
	(協)上尾モンシェリー	15	西上尾第二団地名店会		8
	谷津一番街	3	西上尾商友会	16	
	ショーサン通り商店街	19	小敷谷商友会	8	
	柏座三丁目商店会	3	大谷	今泉中央商店会	10
	上尾柏四繁栄会	14	—	上尾サービスシール(協)	17
平方	平方商店会	20	合 計		506

●市内大規模小売店舗の現状

近年、市内には大規模小売店舗の進出が相次いでおり、このことは、消費行動の変化や地域商業に大きな影響を与えるものと考えられます。こうした状況のもと、大規模小売店舗には、「上尾市商業の振興に関する基本条例」に基づく地域貢献の推進が期待されます。

現在、一部の大規模店舗では、地元の農産物を販売するなど、地域社会と連携した取り組みを始めているところもあります。

■市内大規模小売店舗一覧（平成25年9月1日現在）

No	店舗名	売場面積 (㎡)	No	店舗名	売場面積 (㎡)
1	アリオ上尾	31,010	18	カワチ薬品上尾東店	1,793
2	上尾ショッピングアヴェニューPAPA	19,796	19	マミーマート小敷谷店	1,708
3	丸広百貨店上尾店	19,763	20	フードガーデン上尾中妻店	1,668
4	ハリュープラザ上尾愛宕店	18,868	21	いなげや上尾春日店	1,666
5	イトーヨーカドー上尾駅前店	17,100	22	ドラッグストアセキ平塚店	1,597
6	ホームマートセキチュー上尾店	14,002	23	マルエツ上尾小泉店	1,572
7	ピバホーム上尾店	6,049	24	マルエツ上尾井戸木店	1,548
8	平塚ショッピングセンター (マルエツ上尾平塚店ほか)	5,608	25	でんきち上尾店	1,499
9	ベルク上尾春日店	2,842	26	ライコランド埼玉店	1,496
10	いなげや上尾沼南駅前店	2,794	27	ノジマNEW上尾店	1,479
11	コープニツ宮店	2,525	28	ヤオヒロ浅間台店	1,418
12	エディオン西上尾店	2,466	29	一清堂上尾店	1,411
13	上尾東急ストア	2,333	30	コープ今泉店	1,362
14	ベルク上尾東店	2,167	31	しまむら西上尾ショッピングセンター	1,325
15	ケイヨーデイツー上尾店	1,976	32	カネマン西上尾店	1,304
16	A-GEO・タウン (ヤオヒロエージオタウン店ほか)	1,917	33	Paseos上尾店	1,265
17	コジマNEW上尾春日店	1,820	34	紳士服のコナカ上尾店	1,153



<上尾モンシェリー>



<アリオ上尾>

(4) 工業

●市内工業の現状

本市は、埼玉県内でも有数の工場集積地を有しており、平成10年から平成23年間の県内における製造品出荷額などをみると、景気動向の影響を受けながらも、常に上位に位置しています。

しかし、昭和50年から平成24年間の本市における工業の状況をみると、平成元年以降、工場数及び従業員数、製造品出荷額などは減少傾向にあります。

※「平成24年経済センサス-活動調査 製造業（市区町村編）」では、工場数及び従業員数は平成24年2月1日現在、製造品出荷額などは平成23年1月1日～平成23年12月31日までの数値となります。

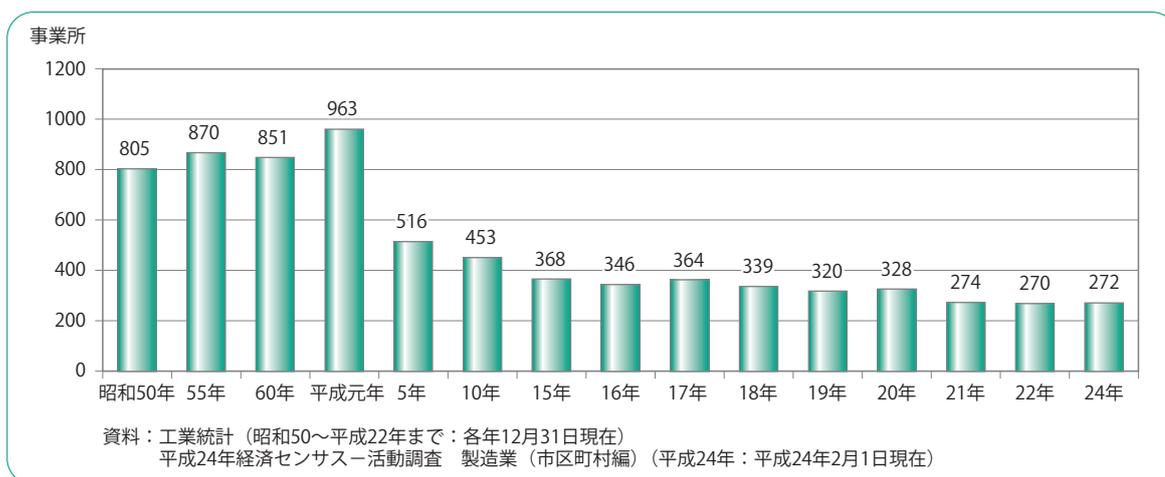
■製造品出荷額などの上位10市町村（埼玉県内）

（単位：億円）

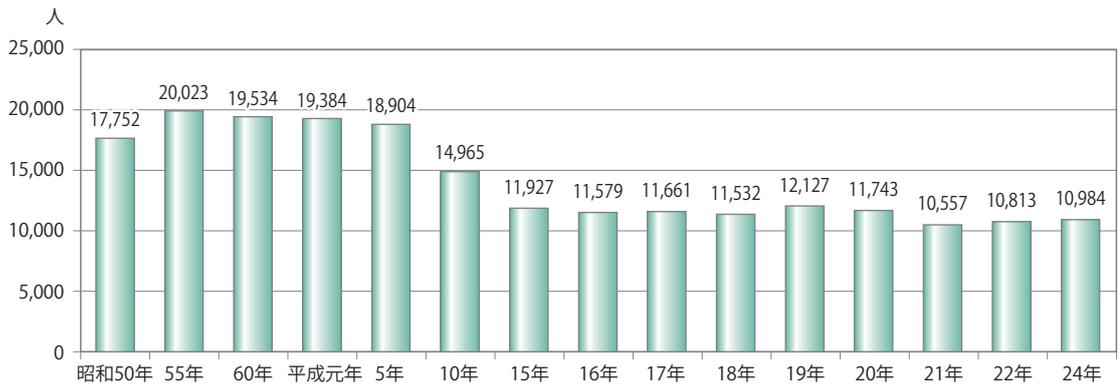
順位	平成10年		平成15年		平成20年		平成23年	
	市町村	金額	市町村	金額	市町村	金額	市町村	金額
1	狭山市	12,226	狭山市	12,785	狭山市	14,868	川越市	9,370
2	川越市	7,365	川越市	7,042	さいたま市	9,132	狭山市	9,260
3	川口市	7,206	さいたま市	6,865	川越市	8,648	さいたま市	8,162
4	熊谷市	4,818	川口市	5,170	熊谷市	8,580	熊谷市	7,890
5	大宮市	4,576	上尾市	4,399	深谷市	7,556	深谷市	6,126
6	草加市	4,145	草加市	3,717	川口市	5,628	川口市	5,025
7	上尾市	3,968	新座市	3,542	上尾市	5,330	草加市	4,280
8	八潮市	3,958	岩槻市	3,383	草加市	4,330	入間市	4,095
9	深谷市	3,905	八潮市	3,203	本庄市	4,070	上尾市	3,831
10	新座市	3,848	久喜市	3,158	入間市	3,986	久喜市	3,745

資料：工業統計（平成10、15、20年）
平成24年経済センサス-活動調査 製造業（市区町村編）（平成23年）

■工場数の推移

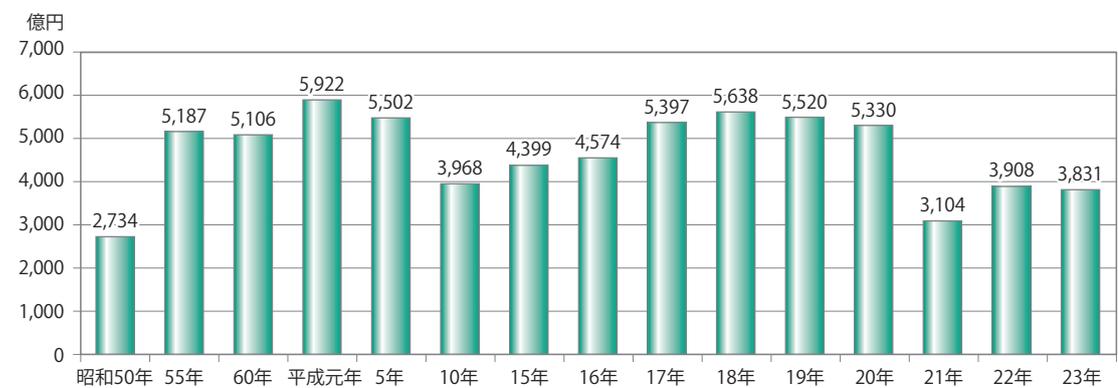


従業員数の推移



資料：工業統計（昭和50～平成22年まで：各年12月31日現在）
平成24年経済センサス活動調査 製造業（市区町村編）（平成24年：平成24年2月1日現在）

製造品出荷額などの推移

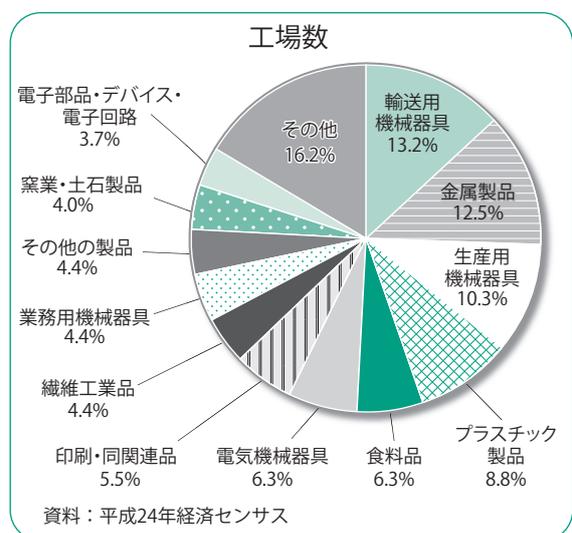


資料：工業統計（昭和50～平成22年まで）
平成24年経済センサス活動調査 製造業（市区町村編）（平成23年）

次に、業種別にみると、工場数では、輸送用機械器具製造業、金属製品製造業、生産用機械器具製造業の順に多くなっていますが、製造品出荷額及び従業員数では、輸送用機械器具製造業が大きな割合を占めています。

工場数

	工場数
輸送用機械器具	36
金属製品	34
生産用機械器具	28
プラスチック製品	24
食料品	17
電気機械器具	17
印刷・同関連品	15
繊維工業品	12
業務用機械器具	12
その他の製品	12
窯業・土石製品	11
電子部品・デバイス・電子回路	10
その他	44
合計	272

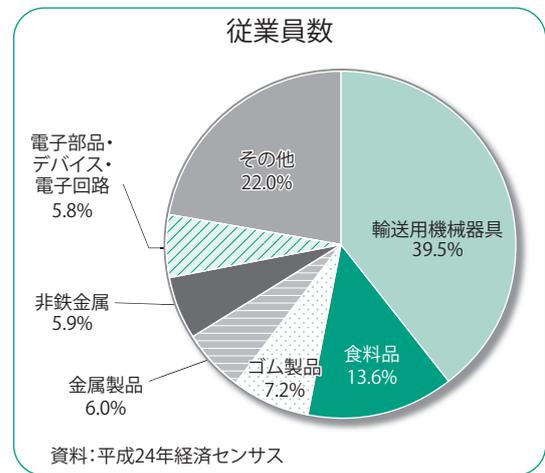
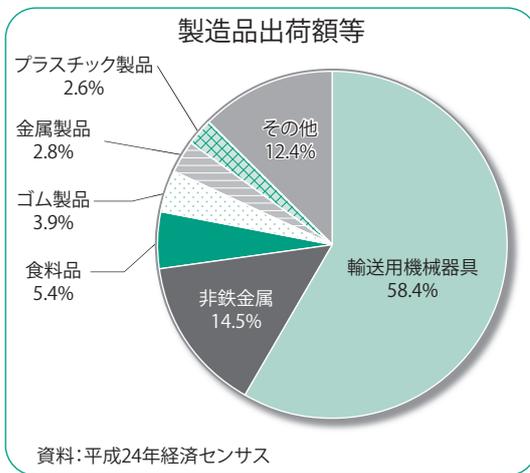


■製造品出荷額など及び従業員数

	製造品出荷額など (億円)
輸送用機械器具	2,238
非鉄金属	556
食料品	205
ゴム製品	149
金属製品	107
プラスチック製品	101
その他	475
合計	3,831

	従業員数 (人)
輸送用機械器具	4,344
食料品	1,495
ゴム製品	787
金属製品	657
非鉄金属	646
電子部品・デバイス・電子回路	636
その他	2,419
合計	10,984

資料：平成24年経済センサスー活動調査 製造業（市区町村編）（平成23年）



次に、従業員規模別にみると、299人以下の中小企業が大半を占めており、その多くは下請け加工型の事業所が多く見られます。

■従業員規模別工場数

	工場数
小規模層（9人以下）	142
中規模層（10～299人以下）	122
大規模層（300人以上）	8
計	272

資料：平成24年経済センサスー活動調査 製造業（市区町村編）（平成24年）

●企業間の交流の状況

本市には、中小企業異業種協同組合である「上尾ものづくり協同組合」があり、地場産業の振興・発展のための事業や異業種間の相互交流を行っています。そのほかにも、市内の大企業で構成する「上尾市工業連絡協議会」や、若手経営者や後継者が交流する複数の団体などがあります。

(5) 観光

本市では、「あげお花火大会」や「あげお産業祭」、「上尾シティマラソン」など、埼玉県内でも有数の集客力のあるイベントを開催しています。また、「上尾さくらまつり」や「あげお花しょうぶ祭り」「こいのぼり掲揚」などをはじめ、市内の美しい自然を活かした四季折々のイベントも開催しています。

このほか、体験型の観光牧場や観光農園などもあり、市内だけではなく、市外からも多くの人を訪れています。

また、本市には上尾運動公園、さいたま水上公園、県立武道館などの施設があり、こうした施設にはイベント時だけではなく、年間を通じて数多くの利用者が来場しています。

■ イベントカレンダー（平成 25 年度）

3月	上尾さくらまつり	8月	あげお花火大会
4月	畔吉の万作踊り	8月	藤波のささら獅子舞
5月	川の大じめ	10月	畔吉のささら獅子舞
5月	花いっぱい運動	11月	上尾市民号
6月	あげお花しょうぶ祭り	11月	あげお産業祭
6月	あげお駅からハイキング	11月	あげおイルミネーション
7月	上尾夏まつり	11月	上尾シティマラソン
7月	堤崎の祭ばやし	11月	花いっぱい運動
7月	平方のどろいんきょ	1月	藤波の餅つき踊り
7月	プロ野球イースタンリーグ公式戦	2月	あげお映画祭

資料：上尾市観光協会HP

■ 市内集客施設一覧

文化・スポーツ施設	所 在	公 園	所 在
上尾運動公園	愛宕3-28-30	上尾丸山公園	平方3326
さいたま水上公園	日の出1	上平公園	菅谷16
県立武道館	日の出4	平塚公園	平塚1212-1
スポーツ総合センター	東町3-1679	ふるさとの緑の景観地	原市地内、中分地内
あげおサイクリングロード	—		
自然学習館・上尾天文台	畔吉178		
文化センター	二ツ宮750		
コミュニティセンター	柏座4-2-3		
市民体育館	向山4-3-10		
児童館アツピーランド	本町6-11-25		
児童館こどもの城	今泉272		
健康プラザわくわくランド	西貝塚17-1		
イコス上尾	平塚951-2		



<上尾さくらまつり（上尾丸山公園）>

資料：上尾市観光ガイドマップ

2 本市の産業振興に係る課題

これまでみてきた、本市をとりまく経済動向や産業構造の現状から、本市の産業振興に係る課題は以下のようなことがあげられます。

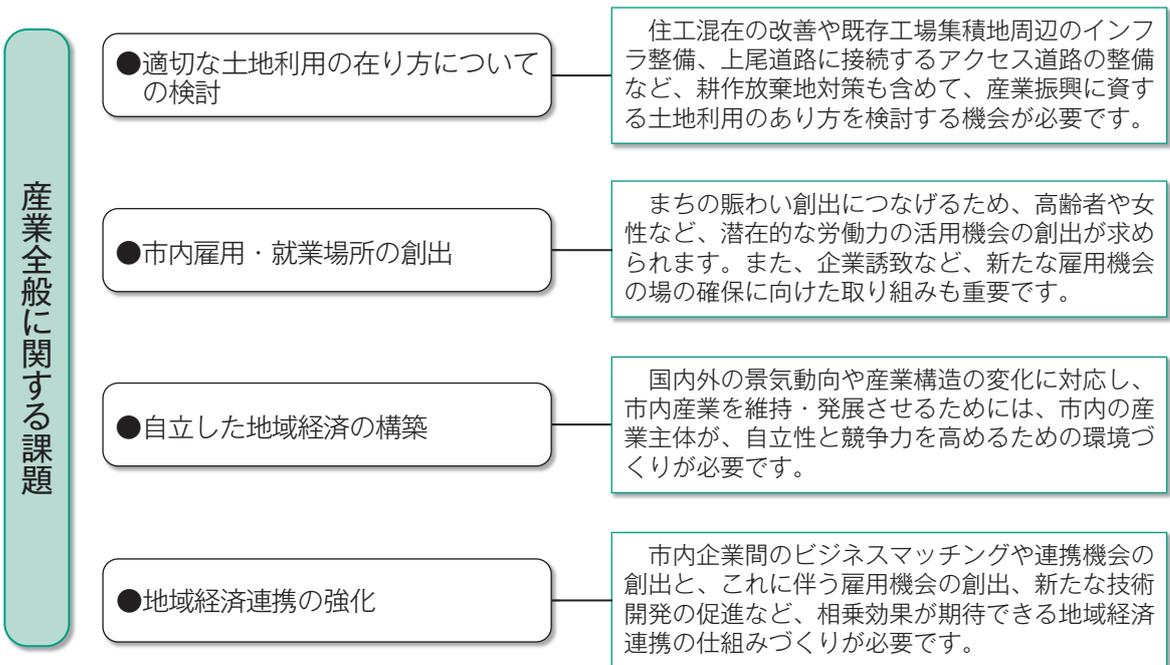
(1) 産業全般に関する課題

本市は、交通の利便性や都心との近接性、災害の少なさなど、産業の立地を考えるにあたって有利な条件を備えています。今後は、上尾道路の整備など、交通の利便性が高まることにより、本市の産業立地における優位性もますます高まるものと考えられます。

一方、住環境としても優位性を持つ本市は、住宅都市として発展を続ける中、住工混在地域が見られるようになっており、生活環境と操業環境の調和が求められています。

さらに、人口減少や高齢化に伴う労働力人口の減少が予想されることにより、地域産業の継続に向けた取り組みが急務となっています。

こうした現状から、産業全般に係る課題として、次のようなことがあげられます。



(2) 農業に関する課題

本市の農業をとりまく現状は、農業従事者及び経営耕作面積の減少、後継者不足など様々な問題を抱えており、新たな農業経営の方策を考えていく必要があります。

一方、首都圏近郊という立地から、生産者と消費者の距離が近いというメリットがあるほか、収穫量では県内上位を占める野菜や果樹類が多く生産されているという強みを持っています。

こうした現状から、農業に関する課題として、次のようなことがあげられます。

農業に関する課題

●担い手の育成

次代への技術継承とともに、新規就農者や若手農業者の育成の機会を設けるなどの取り組みが必要です。

●直売所のさらなる活用

都市近郊という立地の優位性を活かすために、市内直売所の情報提供やより多くの農家が直売所に参入しやすい仕組みづくりなどを推進する必要があります。

●農業の6次産業化、ブランド製品の開発

農業の6次産業化を推進するには、市内の他業種と連携しながら取り組める仕組みづくりが必要です。また、ブランド製品の開発は、はじめに全体的なブランド戦略を組み立てて、官民が一体的に取り組める体制整備が必要です。

(3) 商業に関する課題

本市の商店街は、全体的に1商店街あたりの会員数が少なく、中には、商店の集積が極端に少ないため、商店街の体をなしていないところもあり、消費者ニーズに対応した商店街づくりが難しい状況にあります。また、大規模店舗の進出による影響が大きく、商店街の存続に向けた取り組みとともに、大規模店舗との共存共栄に向けた取り組みも急務となっています。

一方、中心市街地も郊外への大規模店舗の進出の影響を受けているほか、上尾駅を中心として東西に分断されている構造にあることから、一体的な賑わいを実感しにくい状況がみられます。

こうした現状から、商業に関する課題として、次のようなことがあげられます。

商業に関する課題

●中心市街地が一体となった賑わいの創出

上尾駅を中心とした東西の大型店舗や商店街が、共同で事業やイベントを行うなど、中心市街地の新たな魅力創出のための取り組みを推進していくことが必要です。

●商店街・商店の地域、消費者への結びつきの強化

地域の商店街は、複数の商店街による事業の展開や地域団体と連携した地域活動の実施など、地域コミュニティの核としての取り組みが求められます。

●空き店舗の活用

空き店舗の情報を集約・提供するとともに、産業振興をサポートするための空き店舗の活用法や取り組みを検討することが必要です。

●大型店の地域商業に対する貢献と共存共栄

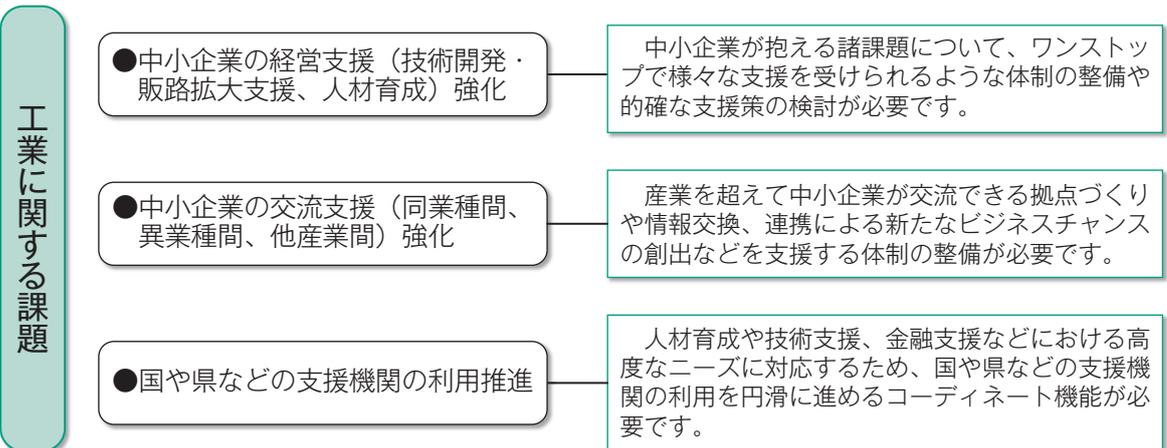
大型店には、地元小売店や農業者、市民など様々な地域関係者と連携した活動を推進するなど、地域の活性化に寄与する役割が期待されます。

(4) 工業に関する課題

本市には精密加工、金属加工、輸送機器などの二次加工、三次加工の中小企業が多く、国内外の経済情勢や景気の影響を受けやすい状況にあり、海外企業との価格や技術競争が激化している中、工場数や製造品出荷額などの減少傾向が続いています。

複数の企業間や業種間における、既存のつながりを強化するとともに、様々な業種や業態に合った対応策について検討することが急務となっています。

こうした現状から、工業に関する課題として、次のようなことがあげられます。



(5) 観光に関する課題

本市では、年間を通じてイベントを開催しているほか、様々なスポーツ施設や公園が存在し、広域から多くの来街者を集めています。

しかしながら、イベントや施設以外で「上尾らしさ」を特徴づけるものが少ないため、来街者数に対して、期待される経済波及効果に結びついていないと考えられます。

こうした現状から、観光に関する課題として、次のようなことがあげられます。

